令和６年度　文京区立青柳小学校

第４学年　授業改善推進プラン

	児童の実態から見える 指導方法の課題（重点項目）	具体的な授業改善策	○成果と▲課題
国語	○自分の考えを分かりやすく文章に書き表すことができるようにさせる。 ○児童が互いの考えの相違点や共通点を考えながら友達の意見に耳を傾けられるようにさせる。	・組み立てメモを活用するなど構成を意識して文章を書かせるようにする。また、児童同士でお互いの文章のよいところを価値付けできるように見合う時間を取り入れる。 ・話し合う前に相違点を明確にしたり、友達の意見に対する感想を書かせたりすることで、友達の意見に耳を傾けさせていく。	○タブレットPCを使い、削除や順番を変更しやすくなったことで推敲しやすくなった。 ○中学年では、「比べる」ということがキーワードなので相違点、共通点を考えながら取り組むことができた。人を大切にして「聞く」ということに力を入れられた。
社会	○地域の様子や絵地図に示された情報を読み取り、その特色を考察する力を伸ばす。 ○資料を活用してまとめる技能を身に付けさせる。 ○主体的に、社会的事象について解決する力や判断する力を伸ばす。	・私たちの東京都や地図帳などの資料の活用を多くし、地域の特色を理解させる。 ・調べ学習を取り入れ、調べたことや考えたことを自分の言葉で表現、発表する機会を増やす。 ・学習問題を立てたり、様々な資料を提示したりすることで、興味をもたせ、主体的に学習に取り組ませる。	○地図帳や資料を多く活用することができた。 ○調べ学習を取り入れた単元では、児童がより主体的に取り組むことができた。 ▲学習問題を立てるときにも児童の言葉から立てていくことをしたが、興味をもっともたせたかった。
算数	○基礎・基本的な内容の定着を図り、学習内容の理解を深める。 ○道具を正しく使い、表や図を正確に作図する力を伸ばす。	・児童の習熟度に応じて具体物を操作したり、言葉や式、図などを用いたりして学習内容の定着を図る。また、各クラスで連携を取りながら習熟度別学習を実践する。 ・具体物を用いて操作の仕方を分かりやすく示す。また、道具の使い方を繰り返し練習させたり、習熟問題に多く取り組ませたりする。	○言葉や式、図を用いたりして多くの児童が説明できるようになった。 ○自分の考えをノートに表現することができた。 ▲道具を正しく使うことに時間をかけ、表や図を正確にかけるようさらに力を伸ばしたかった。 ▲全員の学習内容の基礎基本の定着を図ることができなかった。
理科	○自然の事物・現象の変化に着目し、変化とそれに関わる要因とを関係付けながら調べる。 ○観察・実験や自然体験、科学的な体験を取り入れ、科学的な見方や考え方を育てる。	・導入を工夫することですすんで予想を立てたり、単元計画を工夫することで既習内容を生かして学習に取り組んだりできるようにする。 ・体験をさせることで、興味、関心を高め、主体的に学習に取り組めるようにする。	○導入を工夫することで進んで予想を立て、見通しをもって学習に臨むことができた。 ▲児童自身が問題解決のためにやってみたいプラスアルファの実験を実現しきれなかった。

体育	○それぞれの運動領域で、基本的な動きや技能を身に付ける。 ○自己の運動の課題を明確にし、課題解決のための方法や活動を工夫できる。	・補助運動で主運動につながる動きを取り入れる。また、基本的な動きが身に付くように児童同士で協働をして学び合ったり、自ら補助具を選択して活用したりする。 ・学習のめあてを明確にし、児童が自分なりの課題を見付けて授業に取り組めるようにする。また、学習の振り返りでは学習カードやタブレットを活用して、児童が成果と課題を実感できるようにする。	○運動感覚を身に付けられるように補助運動を工夫できた。児童同士の協同的な学び合うことの必要感をもたせられた。 ○学習のめあてを明確にして取り組むこととはできたが、児童の学習課題を正確に把握することに時間をかけられた。
総合	○自ら課題を見付け、よりよく課題を解決する力を伸ばす。 ○防災学習では、体験を取り入れる。また、学習したことを生活と関連させ、生かせるようにさせる。	・学習の見通しをもたせ、計画的に取り組ませる。ワークシートを活用して、児童が過程や成果を振り返ることができるようにする。 ・自分だったらどうするかを考える活動を取り入れ、体験を通して、学びが深まるようにする。	○学習の見通しをもたせたことが有効だった。計画的に学習を進められた。 ○災害に対しての心構えに成長を感じた。体験を通して学ぶ重要性を感じた。
道徳	○自分自身と結び付けて道徳的価値を多面的・多角的に考える。 ○多様な視点から話し合い、考え、議論する道徳の充実を図り、自己のよりよい生き方を考えさせる。	・書く活動や話し合う活動など、自己の心情、判断等を表現する機会を充実させ、今後の生活の改善まで考えさせる。 ・一人一人の考え方や感じ方を大切にした授業の展開を工夫する。	○振り返りを活用して、今後の生活について考える授業に多く取り組んだ。 ○タブレットPCを有効的に活用し、他者の考えに触れる時間を保障することができた。 ▲意見を交流することはできたが議論するまではいたらなかった。
外国語活動	○外国語に慣れ親しむ機会を多くし、外国語を用いたコミュニケーション能力を育てる。 ○外国の言語や文化について理解を深める。	・外国語の音声や基本的な表現を聞いたり、話したりして、互いに自分の考えや気持ちを伝え合う活動を取り入れる。 ・日本と外国の生活や行事、習慣などの違いについて視聴覚教材を通して知り、多様な見方や考え方があることに気付かせる。	○外国語に慣れ親しむことを大切にALTと協力しながら英語に多く触れ合うことができた。 ○外国の文化に触れることで多様な見方を醸成することにつながった。